

病害虫発生予察特殊報 第 1 号

スモモミハバチの発生について

佐賀県



スモモミハバチ成虫
(山口県病害虫防除所提供)

1. 病害虫名：スモモミハバチ
Monocellicampa pruni Wei

2. 発生作物：スモモ（露地栽培）

3. 発生の経過と概要

令和 4 年 5 月に県内の露地栽培スモモにおいて、穴が開いた幼果が認められ、その内部を幼虫が食害する被害が発生した（図 1）。発生圃場において令和 5 年 3 月下旬～4 月上旬に白色粘着トラップを設置し、捕獲された成虫（図 2）を門司植物防疫所に同定依頼した結果、スモモミハバチであることが判明した。

4. 国内の発生状況

令和元年に山口県で発生が確認された後、広島県、大分県、福岡県でも発生が確認されている。

5. 形態

幼虫の体色は白色から淡黄色、頭部は淡黄色で、老齢幼虫は体長 10mm 程度である（図 3）。成虫の体長は 5～6 mm 程度で、体色は雌雄ともに黒色で、翅は暗色である。

6. 生態及び被害

寄主はスモモのみであり、成虫は年に 1 回、春季に発生する。中国では開花初期に一斉に羽化し、幼果のがくや花托の表皮に産卵することが知られる。孵化した幼虫は果実内部に食入し（図 4）、仁を食べて内部に糞を蓄積する（図 5）。幼虫は食入後、約 30 日で果実に穴を開けて脱出し、土中に潜って土繭を形成して蛹化し（図 6）、翌春に羽化する。被害果は、大きくならずに落下するが、一部は枯れて黒くなり翌年の春まで樹上に残るものもある。

7. 防除対策

スモモの開花終了後、直ちにスモモミハバチに登録された薬剤で防除を行う。

【引用文献】

1. 大分県農林水産研究指導センター農業研究部. 2023. 令和5年度病害虫発生予察特殊報第1号.
2. 広島県西部農業技術指導所. 2020. 令和2年度病害虫発生予察情報特殊報第1号.
3. 福岡県農林業総合試験場長（福岡県病害虫防除所）. 2023. 令和5年度病害虫発生予察特殊報第2号.
4. 溝部信二. 2021. 日本で初めて発生が確認されたスモモミハバチ *Monocellicampa pruni* Weiの発生生態と防除. 植物防疫75(1):37-40.
5. 山口県病害虫防除所. 2020. 令和元年度病害虫発生予察特殊報第3号.



図1 左：被害果上の幼虫脱出孔（○円内）
右：正常果

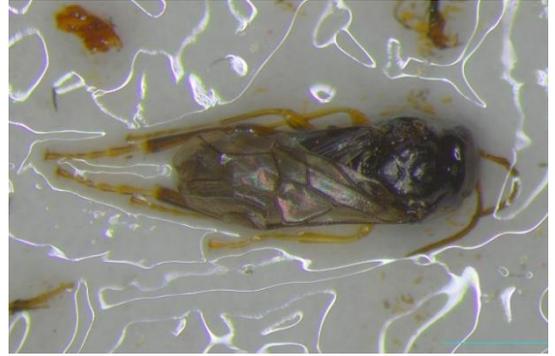


図2 白色粘着トラップで捕獲された成虫



図3 老齡幼虫



図4 幼虫食入孔（○円内）



図5 果実内部の幼虫と食害

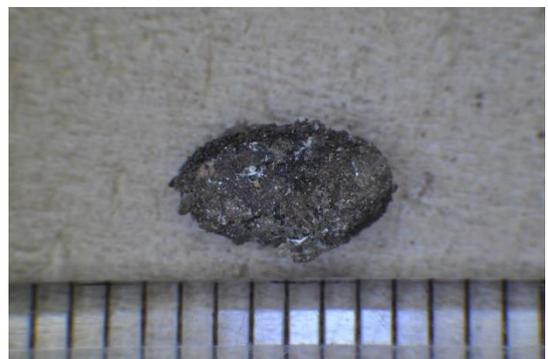


図6 土繭（1目盛り：1mm）

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

